

お客様へのご提案

環境省の「プラスチック資源循環戦略」と国連環境計画の閣僚宣言案

2018年10月に、レジ袋の有料化を義務づける検討を進める事を原田環境相が記者会見で明らかにしました。政府が策定予定の「プラスチック資源循環戦略」の素案では、2030年までに使い捨てプラスチックの排出量の25%削減、2035年までに全ての使用済みプラスチックの100%有効利用（※有効利用にはプラごみの焼却熱を発電などに使うサーマルリサイクル=熱回収、も含める）などを目標として掲げています。レジ袋の有料化はこの目標達成のための具体的施策のひとつです。背景には国連環境計画 (UNEP) の閣僚宣言案があります。その内容が、2025年までにプラスチック製のレジ袋・ストロー・食器の使用をやめ、最終的には使い捨てプラスチックの全廃を目指す戦略を各国がつくる事を求めるものです。環境省が作成した「プラスチック資源循環戦略」の素案よりも高い目標設定になっています。

ホテルで使用されているランドリーバッグはほとんどが再利用ができないため、年間約 3 億枚が廃棄されていると考えられます。

2017年度 旅館・ホテルの営業施設・客室数

厚生労働省調べ	
地方自治体別営業施設数・客室数	
旅館軒数・38,622軒	客室数・688,342室
ホテル軒数・10,402軒	客室数・907,500室

907,500(室) × 365(日)
年間 約 3 億枚

ランドリーバッグとしてのご提案

お持ち帰りOKとして

次のお泊りの際に持ってきていただくと何らかのサービスを付加し、顧客の再利用を促進。

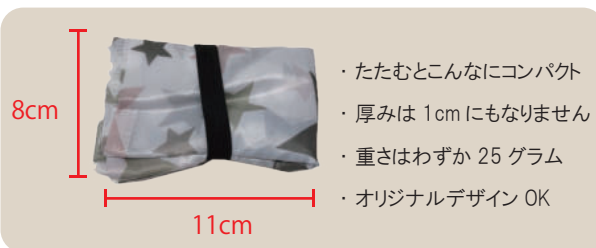
(朝食無料・駐車料割引などのサービス、またはポイント制)

お客様が外で使っていただければ、ホテルの販促につながります。

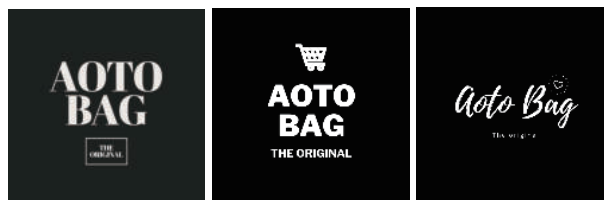
(ご主人が持ち帰った洗濯物を入れている袋がお洒落なエコバッグだったら、奥様がお買い物に使えます。)

プラスチックスマートロゴを付けることにより、ホテルの環境意識を対外的にアピールできます。

(環境活動をPRすることは企業イメージのアップに繋がり、多額の費用をつぎ込んだ広告宣伝活動を上回る効果期待できます。)



<ロゴの例>



オリジナルデザインでの最低ミニマム 30,000 個